RIPPLE SAILING CLUB
NO.111
月刊 1991・12・15
RIPPLE
（発行） 500円
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
TEL 0468−57−1711

今年もあと少し、ありがとうございました。片桐君ついに結婚しました(12.8)

初日の出クルージング

恒例になりました元旦の初日の出クルージングのお知らせです。
1992年の初日の出も皆さんの要望に併い、真っ赤な太陽と雪をたたえた真っ白などでかい富士山が見える相模湾での参拝と致します。

日程　1月1日午前5時　三崎漁港集合（マリーナではない）
城ケ島沖で初日の出を参拝後、海南神社に初詣
要望が有れば2日のレース練習（特にスピンの扱い）
更に要望が有れば初釣りも致します。

使用艇　RIPPLE号

定員　12名

費用　会員以外は5，000円

えらく寒いので着るものには万全の体制でね。
PS・・・・深浦から三崎までの回航要員募集致します。

リプル・スキーツアー[3/6～3/8]

ここ長浜はすっかり冬眠状態に入り、ぎんぎんのレース派を除いては時折学生の合宿か数艇が浜でセールをたたびかしている光景だけが連日のように続き、あのハイレグねーちゃんが恋しい今日この頃です、
会員の皆さんの足も既に雪山にと変更になったようですね。
そこで、我がリプルのスキーツアーは、下記の様に今期も行います。

場所　菅平大松山スキー場
日程　3月6日（金）夜出発・・3月8日（日）着
費用　25，000円位

予定の立った人から早めに申し込んで下さい。

バブル後のマリン業界

昨年をピークに急上昇してきたマリン業界もバブルが弾け、ここにきてモータークルーザーの分野でちょっと異変が起きています。
購買層の8割近くのほとんどがパンチパーマのお客さんであるというモータークルーザーの世界では、ここ2−3年は飛ぶ鳥を落とす勢いで成長してきたその手の人達で業界の総売上は鰻登りであったと言います、
販売する方もするほうで、それとばかりに金にはならなく、手間暇が多くかかるディンギーから方向転換し、一気に大型艇に走り工場を新設したり、外国艇をどどーんと輸入したり、専門誌に全ページカラー広告で宣伝したりして大変な騒ぎの様だったようです。
また売り方も半端じゃなくけた外れた商談だったようです。ある業者の話ですが定価10億円のモータークルーザーの商談の時、もちっと負けないかと言われ、じゃー7億円でどうですかで商談成立という嘘のようなやり取りが交わされていたとの事です。普通この位の金額で値引きしてくれないかと言ったら妥当な数字は数千万円（それにしてもすごい金額だけど）て感じにしません？
また、ボートショーの時、契約するに当たり2年後じゃないと引渡しが出来ないと言われても、どーんと億単位の金を払い込んだりで、彼らにとっては百万円の束が千円札くらいにしか思われていないような感じの話ばかりでした。
ところがバブルが弾けた現在は、販売側ではY社の様に九州の工場を閉鎖したり、また新規参入組では輸入してしまった艇の投げ売りが行われていて定価販売が当り前のこの業界なのに2割3割は当り前で関西方面では半値にしても売れないとの事です。そして、大黒埠頭の大型艇の一時保管場所には、ボートショーに展示した艇がそのまま野ざらしになっているとのことです。まー半値と言っても億単位には変わりは無いのですが。
しかし、決してマリン業界が廃れた訳ではなく、あぶく銭を期待した業界がそのあぶくが無くなり右往左往しているだけで、本当に海が好きな我々のような人種へは、微増ではあるがバブルとは関係なく販売されているとの事です。
ちなみに某大手のY社では、ここ何年かは億単位の艇が毎年平均3艇位の注文があり、5千万円位のが何隻か出ていたが、今年に関しては全くゼロに等しいが、1千万円以下のいわゆる本当に海が好きな層はしっかりしているとの事です。
そして、我々に最も関係のあるディンギー業界はというと、かつてのように夏だヨットだ湘南だ！！と言う浮かれた人達は一掃され、自分のライフスタイルの中にマリンスポーツと関わって行きたいとする、貧しいけれど本当に海が好きな人達が残ったという感じです。
現に、Y社のディンギー販売台数は微増しだし、R社のスクールの実績は天候が無かったとはえ昨年の3倍にも成り底辺がわずかながら拡大したようです。
この様に目先だけの金儲けに利用されるマリン業界でなく、生涯スポーツとしてのマリンスポーツを育てて行くんだという意識に、業界全体がなっていけばなーと感じる今日この頃である。

おとそ気分のヨットレース[1/2]

来る1月2日、NORC関東支部の主催する相模湾新春親善レースが行われます。
そこで我がRIPPLE号も参加を致します。
はっきし言ってめちゃくちゃなレースです。ほとんどの艇がコースを回らないでフィニッシュしたり、最高に笑っちゃうのはコースを回らないで優勝してしまい、”おまえら回ってねーじゃねーか”と周りから言われながらもカップを手にしてしまい、主催者側が”まーいろいろ有りましたが優勝おめでとう”とかなんか言っちゃったり、スターボー、上下は通用しなかったりで全艇の選手の頭の中がアルコールで満端と言う面白いレースです。
他にやることねーのかーと言う冷たい視線を物ともしない方は下記の予定ですので奮ってご参加を！！

三崎漁港集合	午前9時
三崎漁港出航	午前9時30分
スタート	午前11時
年始会	午後3時　（シーボニア）
回航出航	午後4時（三崎漁港）
深浦入港	午後9時
解散	午後10時
費用	8，000円÷参加者

PS・・・ちとハードかな？

ガレージセール

62年型カリーナサーフ、130，000Km走行、車検平成4年1月迄、タイヤ交換その他の修理要（一応動きます）。
でもって、価格は200，000円（え！でもって相談可）
引渡しは1月末。
欲しい人はリプル迄御一報を！！。